



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)後藤 勇治 (TEL)03(3899)2101
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,644	8.2	1,396	11.1	1,460	13.1	994	14.0
2023年3月期第3四半期	9,837	8.5	1,256	24.7	1,290	25.2	872	25.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,312百万円(64.4%) 2023年3月期第3四半期 798百万円(10.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 319.19	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	280.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 22,022	百万円 16,705	% 74.7
2023年3月期	21,247	15,591	72.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 16,456百万円 2023年3月期 15,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 60.00
2024年3月期	—	35.00	—		
2024年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭

2024年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	3.8	1,840	3.5	1,880	3.4	1,320	5.3	424.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	3,420,000株	2023年3月期	3,420,000株
2024年3月期3Q	304,207株	2023年3月期	304,207株
2024年3月期3Q	3,115,793株	2023年3月期3Q	3,110,969株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や円安を背景とした物価高に加え、世界的な金融引き締めによる不透明感がありました。一方、昨年5月に新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）の感染法上の分類が5類に移行し経済活動が正常化に向かう中、企業の景況判断も改善するなど景気は緩やかに持ち直してまいりました。このような経済状況のもと、当社の主要事業領域である医療用ガスや在宅酸素療法分野の重要性は益々高まってきており、多くの患者様の命を支える基盤として、その供給と質の向上に努めております。

介護福祉分野においても、高齢化社会の中での需要の増大やコロナ後でも継続している自宅での生活時間の増加等、多くの変化に対応するために、更に質の高い商品やサービスの提供を目指してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は10,644百万円（前期比8.2%増）、営業利益は1,396百万円（前期比11.1%増）、経常利益は1,460百万円（前期比13.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は994百万円（前期比14.0%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、COVID-19の感染法上の分類が5類に移行後も新規取引先拡販が順調に推移し、医療用酸素・医療用二酸化炭素の出荷量は堅調に推移いたしました。世界情勢を反映したエネルギーコスト上昇等に伴う材料・仕入価格上昇については、市況を見ながらコスト上昇分を鑑みた適正価格への変更に注力し交渉を進めてまいりました。また円滑な組織体制に向けた人的資源の拡充等にも努めてまいりました。

これらの結果、売上高は2,819百万円（前期比4.6%増）、セグメント利益は421百万円（前期比25.3%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策である在宅医療への推進を受け、患者様と医療機関のニーズにお応えすると共に、きめの細かい営業活動を継続いたしました。また、コロナ禍では感染防止に努めつつ出来る限りの対応を行ったことにより「HOT（在宅酸素療法）」、「CPAP（持続陽圧呼吸療法）」共に好調に推移いたしました。利益面では世界的な原材料価格の上昇やエネルギー、輸送費の高騰が続いており、自助努力による合理化に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は4,707百万円（前期比6.1%増）、セグメント利益は590百万円（前期比1.3%減）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関に対し医療用ガス設備並びに消火設備の配管工事の施工及び保守点検業務を行っております。配管設備工事は上期に大型物件の完工もあり好調に推移いたしました。配管設備保守点検もコロナ禍前の状況に戻り、安定した売上を確保しております。

これらの結果、売上高は1,194百万円（前期比28.2%増）、セグメント利益は222百万円（前期比28.3%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタル及び販売部門において、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動を図ることによりレンタル売上及び販売においても順調に推移いたしました。

また、訪問看護事業所は、都内3拠点を事業基盤として地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の充実を図り、順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は887百万円（前期比30.0%増）、セグメント利益は28百万円（前期比762.3%増）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）におきましては、24時間看護師在駐や地元医療機関との連携の更なる構築を図り、高付加価値サービスの提供と、人材育成の体制を強化いたしました。また、入居者様の多様なニーズを把握したうえで、感染症の予防とまん延防止を最重視した運営を徹底することで入居者様、ご家族様への「安心」「安全」をお届けし、入居率の向上に努めました。

通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ王子」（東京都北区）におきましても、感染防止に留意しつつ、地元密着型のサービスの提供と顧客ニーズの多様化に対応した稼働率アップを図りました。

これらの結果、売上高は262百万円（前期比1.4%減）、セグメント利益は16百万円（前期比27.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は22,022百万円(前連結会計年度末比775百万円増)となりました。これは主に、投資有価証券が1,001百万円増加し、有形固定資産のその他のうちリース資産が134百万円、投資その他の資産のその他のうち長期繰延税金資産が141百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は5,317百万円(前連結会計年度末比338百万円減)となりました。これは主に、未払法人税等が108百万円、賞与引当金が87百万円、流動負債のその他のうちリース債務が106百万円、役員退職慰労引当金が86百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は16,705百万円(前連結会計年度末比1,113百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が786百万円、その他有価証券評価差額金が316百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,031,480	9,014,896
受取手形、売掛金及び契約資産	2,732,102	2,657,513
棚卸資産	223,185	293,273
その他	93,905	154,153
貸倒引当金	△13,781	△1,680
流動資産合計	12,066,893	12,118,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,344,444	1,444,416
土地	3,462,663	3,500,837
その他(純額)	1,456,268	1,228,442
有形固定資産合計	6,263,377	6,173,696
無形固定資産		
投資その他の資産	228,762	197,725
投資有価証券	1,466,139	2,467,244
その他	1,222,077	1,066,613
貸倒引当金	△67	△1,027
投資その他の資産合計	2,688,148	3,532,829
固定資産合計	9,180,288	9,904,251
資産合計	21,247,181	22,022,408
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,559,641	2,574,858
未払法人税等	311,887	203,826
賞与引当金	178,200	90,900
その他	1,329,573	1,310,569
流動負債合計	4,379,302	4,180,154
固定負債		
役員退職慰労引当金	846,000	759,450
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	425,271	372,393
固定負債合計	1,276,416	1,136,988
負債合計	5,655,718	5,317,143

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	559,412	559,422
利益剰余金	14,899,006	15,685,225
自己株式	△859,505	△859,505
株主資本合計	15,035,094	15,821,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	308,173	624,662
退職給付に係る調整累計額	22,824	10,115
その他の包括利益累計額合計	330,997	634,777
非支配株主持分	225,370	249,164
純資産合計	15,591,462	16,705,264
負債純資産合計	21,247,181	22,022,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	9,837,182	10,644,544
売上原価	4,894,869	5,315,254
売上総利益	4,942,313	5,329,290
販売費及び一般管理費	3,685,318	3,933,010
営業利益	1,256,994	1,396,280
営業外収益		
受取利息	1,237	4,350
受取配当金	19,728	24,786
受取家賃	9,165	8,887
仕入割引	3,628	3,063
その他	11,660	33,342
営業外収益合計	45,420	74,430
営業外費用		
貸倒損失	30	10
支払利息	4,821	3,730
賃貸原価	1,269	1,269
その他	5,593	5,543
営業外費用合計	11,714	10,553
経常利益	1,290,700	1,460,157
特別利益		
固定資産売却益	—	5,160
ゴルフ会員権売却益	—	2,659
特別利益合計	—	7,819
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,290,700	1,467,977
法人税等	411,779	467,337
四半期純利益	878,920	1,000,639
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,182	6,094
親会社株主に帰属する四半期純利益	872,738	994,545

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
四半期純利益	878,920	1,000,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,242	325,194
退職給付に係る調整額	△16,964	△13,025
その他の包括利益合計	△80,207	312,169
四半期包括利益	798,713	1,312,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	793,072	1,298,325
非支配株主に係る四半期包括利益	5,640	14,483

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社虎彰は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,695,729	4,436,058	931,583	682,523	266,509	9,012,404	824,778	9,837,182
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	70,828	—	—	70,828	—	70,828
計	2,695,729	4,436,058	1,002,411	682,523	266,509	9,083,232	824,778	9,908,010
セグメント利益	336,224	598,511	173,679	3,336	22,631	1,134,385	122,609	1,256,994

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,134,385
「その他」の区分の利益	122,609
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,256,994

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,819,178	4,707,782	1,194,539	887,420	262,754	9,871,675	772,869	10,644,544
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	71,910	—	—	71,910	—	71,910
計	2,819,178	4,707,782	1,266,449	887,420	262,754	9,943,585	772,869	10,716,454
セグメント利益	421,149	590,993	222,839	28,774	16,417	1,280,174	116,105	1,396,280

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,280,174
「その他」の区分の利益	116,105
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,396,280

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。